

最新情報を手に入れよう!

関西大学 学部案内 2026

FACULTY OF BUSINESS AND COMMERCE

商学部

商学部 ホームページ

商学部のさらに詳しい情報、最新のトピックを知るには、「商学部ホームページ」をご確認ください。商学部紹介ムービーや商学紙芝居など、楽しいコンテンツも満載です。スマートフォンやタブレットでも見やすいように、レスポンスwebデザインを採用しています。



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック! \



関西大学の最新情報をチェックしよう!

LINE 関西大学 入試センター 公式アカウント



友だち登録はこちらから!

Instagram 関西大学 入試センター 公式Instagram



X 関西大学 入試広報グループ 公式 X



YouTube 関西大学 入試センター 公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

商学科

流通専修

ファイナンス専修

国際ビジネス専修

マネジメント専修

会計専修

公認会計士試験の合格と、
ビジネススキルの修得をフルサポート。

ALSP

イギリスの古都・ヨークに
滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

BestA

プロアクティブなビジネス
少数精鋭のプログラムを
リーダーをめざす、
展開。

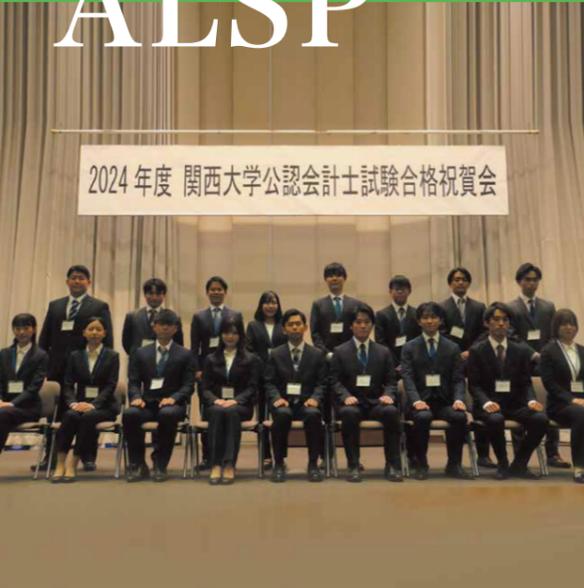
BLS P

ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、
社会に貢献できる人材を育成。

DSI

実践的な学びで高度な金融知識を
身に付ける。

FSP



商学部でどう学ぶか

私たちの学部では、大きく分けて2つの学び方があり、自由に選ぶことができます。1つ目は、「ゼミナール」に進んで専門研究を進めていくことです。多くの学生がゼミナールに所属します。2つ目は、「実践プログラム」に参加することです。実践プログラムでは、特定分野のスペシャリストをめざすための特別なカリキュラムを提供しています。商学部ではほかにも、資格取得による単位認定、公表・表彰や、商学研究科(高度専門職養成コース)への進学を前提とした早期卒業(在学3年間で卒業)制度を設けています。

商学部 3つの学びのPOINT

1. めざす将来像をイメージしながら学べる5つの専修。
3年次に分属する流通専修・ファイナンス専修・国際ビジネス専修・マネジメント専修・会計専修の5つの専修では、将来の社会経験をイメージした専門的な学びを通して、自分のめざすべき将来像や各業界への適性を感じ取ることができます。
2. ビジネスの現場で使える力を養う実践プログラム群。
ビジネス英語やビッグデータ分析手法など、グローバル社会および、ビジネスの現場で求められる力を身に付けるために用意されているのが、商学部の実践プログラム群。豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨きます。
3. 社会やビジネスの現場で役立つ資格取得を学部でサポート。
資格取得に関連した科目を多数配置し、在学中の合格に向け、学習環境を整えています。公認会計士のほか、日商簿記検定、税理士、中小企業診断士等さまざまな資格をめざすことが可能です。また、学外の資格を取得した場合に、専門教育科目の単位として認定する制度も設けています。

Contents

03	商学部の学び 4年間の流れ	11	ビジネスのスペシャリストになる DSI サービス・イノベーション特別プログラム FSP ファイナンス特別プログラム
05	5専修紹介		
07	公認会計士試験合格支援体制	13	キャリアデザイン・資格/OB・OGからのメッセージ
08	会計のプロをめざす ALSP 会計連携特別プログラム		※本誌に記載されている学生の学年表記は取材時のものです。
09	ビジネス英語に強くなる BestA 海外ビジネス英語プログラム BLS P ビジネスリーダー特別プログラム		

学部長からのメッセージ

関西大学商学部の雰囲気と言えば、「明るさ」になるでしょうか。これは、社会の動きに一番敏感であるべき学部だからかもしれません。そのために、商学部ではBLSPを始めとするさまざまな特別プログラムが行われ、実際の企業が抱える課題を企業と一緒に解決策を考える活動を行っています。こうした活動を産学連携と言いますが、最近では、企業活動を通じた社会問題の解決もめざしています。さまざまなゼミがこのような取り組みを行っており、皆さんもこうしたプログラムやゼミに入ることによって、多くの出会いや気づきが得られます。

人生の目標は、下を向いて落ちているものを探すことでは得られません。自ら行動した結果が人生のやりがい、キャリアにつながっていくのです。これは人よりも深い経験をすることで、自分の成長とともに自分のやりたいことが見つかることを示します。商学部では、2年次からゼミナール、そして特別プログラムが始まります。専門科目を勉強することと共に、こうした活動を体験することによって、皆さんの新しい将来が見えてくることを信じています。商学部では、企業活動を教育・研究課題にしている以上、消費者の動き、新しい製品やサービスの開発、国際的に活動するためのコミュニケーション能力、お金の流れなど、こうした課題を解決するための理論や方法論を学ぶこととなります。簿記・会計、経営学、マーケティング、ファイナンス、経済学の分野で、ビジネスと社会課題の解決に向かうのが商学部の特徴です。在学中にも専門の勉強を実践に生かせる機会があります。こうした経験を積むことで、さらに専門性が増していくと考えています。新しい社会を切り開くなら、ぜひ一度商学部を見てください。



商学部長
西岡 健一 教授

めざすのは、英語と会計に強いビジネスパーソン。

1年次 入門科目や共通科目で商学の入門知識に触れる。
入門科目では商学の全体像を理解。共通科目では、商学の基礎である会計の知識や、簿記や情報処理、ビジネス英語を学びます。

2年次 幅広い知識に触れ、興味を広げつつ3年次以降の進路を考える。
共通科目では専門分野の基礎を学び、応用科目では自分の興味に合わせて学びます。演習科目は本格的なゼミの予行演習です。

3・4年次 専修・ゼミに所属し、専門研究を通して卒業論文を完成させる。
所属するゼミを選んで、指導教員や他のゼミ生とともに研究を行います。実践プログラムに参加する道もあります。

共通教養科目・外国語科目

入門科目(必修科目)

共通科目(選択科目)

専門教育科目



1年次のときには少人数のゼミ形式の授業で、大学での過ごし方や勉強の仕方を理解します。



2年次の秋学期には、3年次から開始する本格的なゼミ活動に円滑に取り組めるよう、予行演習として演習(プレゼミ)を受講できます。



応用科目(選択科目)

演習科目(選択科目)

3年次からは5つの専修から一つを選び、所属するゼミで専門性を磨く

流通専修

紹介は05ページへ

流通のメカニズムや企業活動に関する知識、理論を学ぶ。

- 持続可能な社会に向けてイノベーションの提案と実践 ●サステナビリティ・マーケティングとマーケティングの経済分析
- 現代の消費者行動とそれを基にしたコミュニケーション戦略
- 消費者・生活者の立場から考える非営利・協同セクターの課題と可能性 ●流通・マーケティングの理論と実践について
- グローバル・マーケティングの実証分析

ファイナンス専修

紹介は05ページへ

金融機関の構造を資金運用、リスクなどを中心に学ぶ。

- 財政学・租税論 ●実物経済と金融 ●国際金融の実態と理論 ●企業金融に関する研究 ●デジタル化と課税
- 少子高齢社会におけるリスクと保険の役割 ●金融政策に関する研究 ●証券市場・証券分析に関する研究

国際ビジネス専修

紹介は06ページへ

国際関係、貿易、世界経済などをグローバルな視点で学ぶ。

- BOP/SDGsビジネス研究&越境ECビジネス実践 ●ビジネスコミュニケーション ●フリーウェア(Maxima)で社会を斬る!
- 航空と観光を通じて読解力とプレゼン力を高める ●〈やさしい日本語〉と"Easy English":海外・外国人材との共生に向けて
- 英語で調査研究をプレゼンテーションするための基礎を作る 英語で調査研究をプレゼンテーションする
- 競争と戦略に関する理論研究 ●スローでゆるい月3万円ビジネスの実践で、カネと組織に依存しないで豊かに生きる「自立力」を磨く:適正技術で持続可能な社会づくり ●グローバルイノベーションと開発・貧困問題の研究

マネジメント専修

紹介は06ページへ

管理、労務、情報、戦略など、企業・経営の実務を学ぶ。

- 価値づくりとマネジメント ●Hidden Potential: 潜在能力を解放し世界を舞台に自分の可能性を試す ●死んだ知識の蘇生(=真なる理解)と新知識の創造(=研究)を通じた知的成長 ●新しいビジネスの創造とマーケティング ●組織やイノベーションに関する研究 ●技術経営と生産システムに関する研究 ●テーマパークの効率的な回り方を考える ●ベンチャーの戦略と組織:ソーシャル・アントレプレナーシップと協働 ●優良企業に関する研究 ●デジタル・マーケティングに関するデータ分析と応用
- マーケティングになるために必要なマーケティング思考の実践 -マーケティングサイエンスと消費者行動分析に基づく戦略立案

会計専修

紹介は07ページへ

簿記や会計情報を読み解く実務と理論を学ぶ。

- ビジネスを創り、組織を動かす管理会計 ●会計数値を用いた実証分析 ●企業分析演習
- サステナビリティ会計・経営に関する研究 ●サステナビリティ経営を実現する管理会計研究
- サステナブルな社会に向けて、企業は信頼できる移行計画を策定しているか? ●会計の視点から企業と経済社会を考える
- 経済・社会・環境へのインパクトを会計に取り込むには? ●経営会計ゲームと国際会計

! 本学商学研究科(高度専門職養成コース)および、本学会計専門職大学院への進学をめざす、きわめて優秀な学生を対象に 早期卒業(在学3年間で卒業)を認める制度を設けています。

詳しくは商学部ホームページ
「早期卒業制度」をご覧ください



さらに実力を高めたい人には

実学を実践的に学べる5つのプログラムを活用して大きく力を伸ばそう!



5つのプログラム

会計のプロをめざす

実践プログラム①

ALSP

公認会計士試験の合格と、ビジネススキルの修得をフルサポート。

会計力 × 実践力

1年次より履修可能

紹介は08ページへ

ビジネス英語に強くなる

実践プログラム②

BestA

イギリスの古都・ヨークに滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

英語力 × 実践力

1年次より履修可能

紹介は09ページへ

ビジネスのスペシャリストになる

実践プログラム③

BLSP

プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、少数精鋭のプログラムを展開。

英語力 × 実践力

2年次より履修可能

紹介は10ページへ

実践プログラム④

DSI

ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、社会に貢献できる人材を育成。

発見力 × 実践力

3年次より履修可能

紹介は11ページへ

実践プログラム⑤

FSP

実践的な学びで高度な金融知識を身に付ける

金融力 × 実践力

2年次より履修可能

紹介は12ページへ

流通専修

生産と消費をつなぐ流通のメカニズムや企業のマーケティング戦略に関する理論を、さまざまな視点から解明していきます。経済や流通の基本であるヒト、モノ、マネー、そして近年特に重要になってきている情報が、どのように流れていくかということに焦点を合わせ、社会・経済・経営の仕組みを明らかにします。

チームで課題解決に向けて
知恵を出し合う過程が何より楽しい。

ゼミ活動で、数々のビジネスアイデアコンテストに出場しました。なかでも印象に残っているのは、JR西日本主催の「北陸カレッジ2023」という地域活性化プロジェクトです。現地を訪ねてまわり、石川県加賀市の食、歴史、自然という3つの魅力に注目。若い世代に印象に残りやすく伝えることを意識した結果、最優秀賞をいただくことができました。「絶対に優勝しよう!」と同じ目標をもった仲間と力を出し切れたことがうれしかったです。

4年次生 / 関戸 麻有
(大阪/桃山学院高校出身)



こんな人にオススメ!

- ▶ 商品がヒットした秘密を探りたい
- ▶ お客さんが集まる店の条件を知りたい
- ▶ コンビニエンスストアの商品戦略を学びたい
- ▶ 消費者の視点からマーケティングを考えたい

関戸さんの4年間の成長ストーリー

1年次

さまざまな講義を受講するなかで、社会や経済において流通が大きな役割を果たしていること、日常生活にも密接に関係していることを学びました。また、企業活動だけでなく地域経済や個人の消費行動にも関わる点に興味をもちました。

2年次

秋学期から、課題解決に向けた提案を行うプレゼミに参加。ゴルフ場における新たなレジャー活用案を提案しました。現状や課題をふまえた提案を作り上げるプロセスにやりがいを感じました。

3・4年次

2年間のゼミ活動中、4つのプロジェクトに参加しました。発表を行う機会が増えていくことで、発信力や表現力、論理的に考える力が自然と鍛えられましたし、社会人の方々と接するなかで、ビジネスマナーも身に付きました。

国際ビジネス専修

国際ビジネスに必須のビジネス英語、外国との貿易、支払いのための外国為替、国際売買取引の仕組み、国際間の経済、政治、さらに米国、欧州、アジア、中南米、ロシアの経済、国際間の海運や航空輸送、米国、EU、アジアを中心に展開される国際物流などについて学びます。

実用的な英語とゲーム理論を
ビジネスの現場で役立てたい。

実用的な英語を身に付けたいと考えて国際ビジネス専修へ。2年次に受講した講義をきっかけに、ゲーム理論を学ぶゼミで学んでいます。例えば、核開発をめぐるアメリカと北朝鮮の交渉の歴史を学びながら、お互いの選択が相手国にどのような影響を与えるのか、そのパターンを分析。相手の出方を先読みして、できるだけ自分の利益を大きくし、失点を小さくするという考え方がおもしろく、今後ビジネスの場で活用したいと思います。

3年次生 / 明神 ひかり
(京都/府立菟道高校出身)



こんな人にオススメ!

- ▶ 外国企業による日本企業買収について学びたい
- ▶ ビジネス英語を習得し、海外の人とコミュニケーションしたい
- ▶ アジア諸国の経済事情を探りたい
- ▶ 海外商品の輸入方法を知りたい

明神さんの4年間の成長ストーリー

1年次

ビジネス上で使う英語を学び、英語でのプレゼンテーションも経験して自信が付きました。また、必修科目の「簿記入門」は初めて学ぶ分野でしたが、企業の経営状態や活動内容を数字で理解するための土台になりました。

2年次

秋学期のプレゼミでは、旅行業の企業とコラボして、大阪・関西万博に向けた新しい旅行プランの提案に取り組みました。毎週プレゼンテーションを行い、企業の方から具体的なアドバイスをもらう貴重な経験ができました。

3・4年次

ゼミではディベートに取り組んでいます。「安楽死」など正解のないテーマをめぐって議論する中で、相手の状況をふまえて根拠のある反論ができるように。ロジカルに話す力は、就職活動にも役立つと思います。

ファイナンス専修

社会にとって資金は人間の血液に相当します。企業、家計、政府が経済活動を行う上で必要となる資金の調達や運用、種々の金融機関からなる金融制度や、為替、証券市場などの金融市場がどのような仕組みと機能を有し、ビジネスや経済とどのように絡み合っているのかを学びます。

社会に役立つ金融知識を
実践の学びで身に付ける。

社会と経済の関わりを学ぶ中で株式や投資、証券について関心が深まり、これまで無関係だと感じていた企業情報やニュースの見方が変わりました。ゼミでは「資産運用を促進するための金融教育」をテーマに、金融知識を身につける意義と学びを深める方法を研究しています。授業の一環で銀行のインターンシップに参加したことをきっかけに、金融業界を志すように。将来は、お客様の要望に対して最適な金融知識が提案できる社会人をめざします。

3年次生 / 西岡 航輝
(高知/土佐高校出身)



こんな人にオススメ!

- ▶ 社会や企業のお金の流れについて考えたい
- ▶ 銀行や証券会社の機能や役割を探りたい
- ▶ 保険の適切な活用法を学びたい
- ▶ 金融政策や税金の制度を知りたい
- ▶ ファイナンスのさまざまな分析手法を学びたい

西岡さんの4年間の成長ストーリー

1年次

「経済入門」では、経済の流れを社会や実生活に落とし込んで学ぶことができ、企業と経済の関わりについて理解が深まりました。学ぶ中で自身の金融知識に不安を感じ、ファイナンス専修を選択するきっかけに。

2年次

企業情報の見方や、株の選び方を学びたいと思い「証券市場論」を受講。数字から企業の動向が見えることに金融のおもしろさを感じました。秋学期からのプレゼミでは金融・経済学習コンテストに参加。株式投資を実践的に学びました。

3・4年次

「グロース市場の上場基準の引き上げ」をテーマにディベート大会に参加。想定質問に対抗できるよう、否定派・肯定派どちらの意見も準備しました。金融知識を深め、理論的に発言する力が身に付きました。

マネジメント専修

グローバルでダイナミックに変化する環境は、多くの問題を企業に投げかけています。企業は、直面する課題をどのように解決しようとしているのでしょうか。マネジメント専修ではヒト、モノ、マネー、情報などに焦点を当て、ビジネスに関する意思決定の理論、歴史、政策を学びます。企業経営、組織運営の実際を、管理、人事、情報処理、戦略など多角的に分析し、理解します。

経営者視点で物事を見る力を養い
人を動かすリーダー像を追究。

高校時代に硬式野球部の主将を務めたことをきっかけにリーダーシップに興味をもつように。モチベーションの高め方や人的資源の活用について学びたいと思い、マネジメント専修を選びました。ゼミでは、企業と連携した実践的なプログラムに取り組み、学生の視点から新入社員の効果的な研修を立案。グループワークを通して、チームで目標に向かうプロセスの組み立て方や、仮説を立てて課題解決をめざす重要性を実感しました。

4年次生 / 小磯 潤
(京都/府立洛西高校出身)



こんな人にオススメ!

- ▶ 企業経営者として世界をリードしたい
- ▶ 新しいビジネスの創造を考えたい
- ▶ インターネットビジネスについて知りたい
- ▶ データを活用し、ビジネスに有用な知識を得たい

小磯さんの4年間の成長ストーリー

1年次

「経営入門」では、効果的な戦略の立て方について学び、経営に関する分析力を身につけることができました。企業がつノウハウや知識など、広い意味での資産の活用方法を知り、利益を生むための考え方が身に付きました。

2年次

「ヒューマン・リソース・マネジメント」では、従業員のモチベーションを高める方法について論理的に学ぶことができました。もともと関心があったリーダーシップのあり方について、もっと深く学びたいと考えました。

3・4年次

卒論では、リーダーがフォロワーと一緒に目標を作り上げる「変革型リーダーシップ」について研究。時代とともに求められるリーダー像の変遷を学んだことは、今後信頼されるリーダーをめざす上でも、生かしていけると思います。

会計専修

企業の経営者と投資家や銀行などの利害関係者の行動を左右する会計情報が、どのように作り出され、どうやって利用されるかについて学びます。そして、企業活動の運営に欠かせない手段としての簿記や、企業の会計情報を読み解く力を養います。実務と理論を学び、公認会計士や税理士、国税専門官、一般企業の経理担当者など、スペシャリストへの道を開く専門コースです。

こんな人にオススメ!

- ▶ 企業のマネジメントを計数を通じて知りたい
- ▶ 公認会計士になりたい
- ▶ コンピュータを利用し、企業を分析したい
- ▶ 証券取引などの企業投資を学びたい

数字から企業価値を分析し、課題解決に導く能力を高める。

高校の先生に言われた「努力型の君には、会計が合うかもしれない」という言葉をきっかけに興味をもった会計学。数字と向き合うだけだと思われがちですが、実際はその先にいる企業や人に利益を生むための知識を学ぶことができます。ゼミでは、企業に行ったインタビューを通し、売上高以外のデータからも将来性を推測する視点が身に付きました。専修で修得したノウハウは、社会でも役立つ知識だと思います。

3年次生 / 鳥井 大喜
(大阪 / 市立東高等学校出身)
※現在は「府立東高等学校」

鳥井さんの4年間の成長ストーリー

1年次

6月に独学で簿記3級の資格を取得。簿記の基礎知識を得た上で、より専門性が高い「商業簿記」「工業簿記」を履修しました。勉強した成果が「明確に表れる簿記のおもしろさ」を感じ、秋学期以降も会計関連の授業を履修するように。

2年次

簿記2級の範囲を実践的に学べる「連結会計論」では、財務諸表の作成ルールや、仕訳の方法を修得。普段聞きなれない経済用語なども理解できるようになり、企業が開示している情報を見るポイントがわかるようになりました。

3・4年次

公認会計士の先生が「企業側から見たお金の動き」を教えてくれる「会計学特殊講義」で、資金の調達や投資について学びました。ゼミでは、金融・経済学習コンテストに参加し、企業の経営状況をデータから読み解く多角的な視点を養っています。

会計のプロをめざす

企業の経営者や従業員、投資家や銀行など企業内外の関係者が意思決定を行うために、会計は必要不可欠です。公認会計士試験や日商簿記検定などの資格合格をめざし、「会計のプロ」を育成します。

実践プログラム①

ALSP

短期間で公認会計士をめざす

会計連携 特別プログラム

Accounting Linkage Special Program

会計力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

深く解説してもらうことで理解が深まり、3年次での早期合格につながりました。

ALSPでは、会計専門職大学院の教授陣から合格に必要な知識を深く学ぶことができます。知識の丸暗記ではなく、背景まで理解することで実務への応用力まで身に付きました。また、卒業所要単位に算入できるため、試験対策の勉強と両立しやすい利点があります。私は高校で簿記3級を取得していたのですが、より難しいとされる国家資格にチャレンジしてみたいと思い、日商簿記2級を取得後、学内の公認会計士講座の受講を開始しました。関西大学は外部の専門学校と提携しているため、キャンパスで受講できるので効率よく学べる点もメリットです。また、2年次の秋からはALSPプログラムに参加。監査基準の意図や適用される場面について、試験委員を務める先生から深く学べたのは幸運でした。知識の暗記で終わらず、理解を重視する学習スタイルが、3年次に論文式試験合格を果たす鍵になったと思います。今後はさまざまな業種の監査経験を積むとともに、グローバル業務にも携われるジェネラリストをめざし、英語力も磨いていく予定です。



3年次生 / 喜多嶋 佳菜
(兵庫 / 市立伊丹高校出身)

公認会計士試験合格を徹底サポート

商学部では、公認会計士をめざす学生を対象にした支援体制を、学部を挙げて整備しています。

2024年公認会計士試験に 関西大学から31名が合格。うち4名が 商学部在学中に合格!

企業の経営・財務活動を支えるニーズの高い資格。公認会計士は、会計の専門家であり、独立した立場において、監査、税務、コンサルティングなどさまざまな役割を果たしています。

監査業務

企業の会計情報(財務書類)の正しさを第三者の立場からチェックします。透明性のある社会・経済を築くために必要かつ重要な業務です。

税務業務

税理士登録もすることができ、税務書類の作成や税務に関する相談を行うことができます。監査法人等に所属せず、個人で業務を行います。

コンサルティング業務

経営戦略の立案、組織構成に関する提案など、企業の重要な意思決定に関わって支援します。今後はますます重視される業務です。

詳しくは商学部ホームページ「めざせ公認会計士」をご覧ください。



支援の特徴

簿記検定チャレンジ模試で奨励金を授与 奨励金で、簿記検定合格を応援します。

秋学期に開催する「簿記検定チャレンジ模試」は、日本商工会議所が主催する簿記検定試験の直前対策の一環で、成績優秀者には、関西大学キャリアセンター・学内有料講座や専門学校などの公認会計士受験対策の受講費用を援助するために、奨励金を授与しています。毎年、過去の入賞者が公認会計士試験に合格しています。それは、簿記検定チャレンジ模試後にさらに勉強を続けた努力の成果ですが、「奨励金」がその一助となっています。



学外資格単位認定制度

日商簿記検定試験、税理士試験科目、公認会計士試験の合格者に対する学外資格を単位認定する制度があります。

公認会計士試験受験支援自習室の貸与

千里山キャンパス(第2学舎2号館7階)にある公認会計士試験受験支援のための自習室を有料で貸与。参考書や受験雑誌、自習用の机を用意しています。



日商簿記検定直前対策(3級・2級)

日商簿記検定試験の直前対策の一環として、受験専門学校と連携して、「検定直前攻略セミナー」を実施しています。

キャリアセンター学内有料講座

受験専門学校と連携して、公認会計士講座を開講しています。日商簿記検定1級・2級・3級の対策コース等も用意されているので、公認会計士に向けて1・2年次から体系的に学ぶことが可能です。

合格祝賀会の開催

関西大学の在学学生・卒業生の公認会計士試験合格者に対して、毎年、合格祝賀会を公認会計士関大会(OB・OG会)とともに開催しています。

公認会計士制度の紹介

公認会計士制度説明会、日本公認会計士協会による講演会、公認会計士試験合格者による講演会などを開催し、さまざまな情報提供を行っています。

ALSPでの経験と公認会計士試験合格までの道のり

1年次

秋に日商簿記2級を取得後、キャリアセンター学内有料講座(旧:エクステンション・リードセンター)で会計士講座の受講をスタート。簿記よりも理論と計算のつながりがわかる点におもしろさを感じました。



2年次

秋から参加したALSPでは、公認会計士試験の試験委員もされている先生から学ぶことができました。事例を元に監査基準の意図を説明いただけたことで、問題集の解説よりも深く理解できました。



3年次・4年次

2年次の冬に短答式試験に合格できたので、3年次は論文式試験の対策に集中。記述のポイントを先生から教わりながら、暗記にとどまらず論理的に理解する学び方に切り替え、3年次の秋に合格をいただきました。

▶ 公認会計士試験の合格と、ビジネススキルの修得をフルサポート。

資格取得に向けて効果的なカリキュラムを提供

専任教員や外部講師による演習形式の講義を通して、効率的な学修を可能にするカリキュラムを編成しています。

講義は定員制で集中できる環境で実施

履修定員を設けることで、集中して学べる環境を整えました。ゼミ形式のワークショップなど実践的な学びを通じ、専門知識を深めています。

卒業所要単位を満たすことができる

ALSPでは十分な学習時間が確保できるように、26科目52単位を配当し、計14単位まで卒業所要単位に算入できます。

ビジネス英語に強くなる

グローバル化が進み、ビジネスにおいて英語が重要視されています。さまざまなビジネスシーンに対応できる実践的な英語力や自らの意見を発信していく能力を身に付け、国際社会で活躍できる人材を育成します。

実践プログラム②

BestA

イギリスでビジネス英語を身に付ける

海外ビジネス英語プログラム

Business English Study Abroad

英語力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

長い歴史を感じる美しいヨークの街で、イギリスと日本をつなぐビジネスプランを提案。

これまで留学経験がなく、海外の文化や生活習慣を肌で感じてみたいとずっと考えていました。さらに、イギリスの大学で英語を使ってビジネスを学べるBestAに、より一層魅力を感じて、入学早々に参加を決意。留学中の授業では、イギリスの企業とGAFAなどのグローバル企業の経営戦略などを、全員参加型の授業形式で学びました。また、イギリスの老舗小売店について調べ、実際に資料館を訪ねるフィールドワークも経験。そしてプログラムの集大成として、私たちのグループは、イギリス独自の「フードマーケット」を日本で成功させる方をプレゼンテーションし、ヨーク大学の先生から高評価をいただくことができました。1年次にこうした濃密な経験ができたことで自信が付き、今後学んでいくためのモチベーションにもつながっています。



1年次生 / 福谷 朋紀
(兵庫 / 県立鳴尾高校出身)

実践プログラム③

BLSP

英語に強いビジネスリーダーをめざす

ビジネスリーダー特別プログラム

Business Leader Special Program

英語力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

企業課題を解決へ導く視点を養い、海外企業のサポートができる社会人へ。

高校生の頃から日本と海外をつなぐ仕事に興味があり、国際的な視点でビジネスを学びたいと思い、BLSPに参加しました。2年次に認定留学を活用してカナダに3ヵ月間留学し、日常会話はある程度話せるようになっていましたが、BLSPのプログラムでは、フォーマルな言い回しが求められるビジネス英語を学ぶことができ、語学力がさらに高められる環境に期待が高まりました。少人数でグループワークを行う授業が中心なので、英語のコミュニケーションに加え、意見を発信する重要性や、円滑にプロジェクトを進行するノウハウも身についたように感じます。「ビジネスモデル論」では、先生が用意してくれたさまざまな企業のビジネスモデル資料を読み解き、課題を拾い上げる視点や、解決へ導く方法を実践的に修得。その学びを海外ワークショップでも生かし、現地企業に納得いただける課題解決の提案ができました。プログラム参加前は漠然と貿易に携わりたいと考えていましたが、多角的な視点で課題に向き合い、解決策が提示できる存在になりたいと将来の夢が明確に。就職先の持つノウハウに、私自身の発想をプラスしながら、海外の案件でも活躍できる人材をめざします。



4年次生 / 道古 真子
(大阪 / 府立泉陽高等学校出身)

BestAに参加して成長したこと

参加前

留学中(約3週間)

参加後

ディスカッションを中心とした事前授業に加え、日常会話で使う英単語を調べておきました。英語が得意でなくても、準備さえしておけば問題はないと思います。

週1回、ヨーク周辺の都市を訪問する授業があり、石造りの街並みの美しさに圧倒されました。休日にはロンドンに出かけ、大英博物館を見学したり、フィッシュ&チップスを食べたりとイギリス文化を満喫できました。



留学生と交流できるスペースで、コミュニケーション力が向上したことを実感。将来は公認会計士をめざしており、英語を生かした海外赴任なども視野に入れるようになりました。

▶ イギリスの古都・ヨークに滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

ビジネス英語に特化した商学部独自のプログラム

教室での学習だけでなく、商業施設見学やイギリス国内旅行企画などを通して、イギリスのビジネスの現場を実際に体験。語学力の向上を狙います。

プログラムを実施できないまたは変更する場合があります。

約4週間集中で本場ビジネススクールの講義を受ける

イギリス・ヨーク大学と提携。約4週間現地に滞在し、ビジネス英語を短期集中で身に付けます。



BestA 紹介ムービー



海外ビジネス英語プログラム(BestA)のイギリス・ヨークにおける留学風景を紹介。現地での取り組みやホームステイ先での様子、休日の過ごし方など、BestAのイメージがつかめます。



歴史が古い美しい建造物が共存し市内観光で様々な文化に触れる



1分55秒
ショートバージョン



10分40秒
ロングバージョン

BLSPでの経験

2年次

説得力のある企画提案の力を高めるため、秋学期の演習では、旅行会社に向けて新たな企画を立案。サウナの健康効果をリサーチし、各国のサウナを集めた複合施設を、実際に企業の方へプレゼンしました。

3年次

シンガポール研修では、子どもに向けて金融知識の教材を作っている企業と連携し、日本展開に向けてPR動画をSNSで発信する施策を提案。実践的なビジネス英語で発表する力が身に付きました。



4年次

BLSPでの学びを通し、課題を解決に導くプロセスに魅力を感じ、コンサルティング業界を志すように。将来は日本進出をめざす海外企業のサポートができる人材に成長し、世界をつなぐ架け橋になりたいです!



▶ プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、少数精鋭のプログラムを展開。

海外でプレゼンテーションをするのに十分な英語力を身に付ける

2年次でプレゼンテーションの基礎を学んだ上で、3・4年次にかけてプロジェクトに取り組み、プレゼンテーション能力をさらに磨いていきます。

少数精鋭のゼミ形式

3・4年次は、少人数制のゼミできめ細かい指導を行います。チームでプロジェクト研究に取り組み、リーダーシップとプロジェクト実践力を身に付けます。

現地企業・大学でプロジェクト研究のプレゼンテーションを

シンガポールで行われる海外ワークショップにて、現地企業や大学でプロジェクトの調査・発表を英語で行います。



▲シンガポール研修の様子

ビジネスのスペシャリストになる

ビジネスの世界で必要とされるのは「最後まで自分で成し遂げる力」。大規模なデータの分析力、リサーチ力、コミュニケーション能力を徹底的に鍛え、企業や組織に新しい価値をもたらすサービス・イノベーターを育成します。

実践プログラム④

DSI

データ分析で新たなビジネスを生み出す
サービス・イノベーション
特別プログラム

発見力
×
実践力

Data Mining and Service Science for Innovation

プログラム体験メッセージ

実店舗の購買データ分析を通して、
結果の背後まで考える力が身に付きました。

1年次に企画提案を行う機会があり、ビジネスの世界では根拠がないと周りを説得できないと感じて、データ分析を実践的に学べるDSIに参加しました。具体的には札幌市のスーパーマーケットから2019年の購買データを提供いただき、バスケット分析を実施。どの商品の組み合わせが頻りに購入されているかを分析して、その結果から、どの年代、性別、在住地域の顧客が購入しているかを分析するものです。Pythonというプログラミング言語を用いてコードを書き、データの抽出、可視化を行い、その結果を考察しました。分析の過程で先生から「スーパーの営業時間外のデータが存在しているなら、なぜそのデータが存在すると思う?データは使うべき?」と指摘をいただいたことがあります。データをそのまま使わず、本当に適切なのかを見極める必要を実感しました。このプログラムを通して、感覚で判断するのではなく、数値的根拠を元に施策を提案するようになりました。可視化された結果の裏に何があるのか、突き詰めて考える力も身に付いたと感じます。



3年次生 / 前多 藍
(大阪/府立大阪ビジネスフロンティア高校出身)

DSIに参加して
得た経験

3年次

4月～6月

7月～10月

10月～

Pythonというプログラミング言語を使って、プログラムの記述方法とデータ加工を基礎から習得しました。

膨大な購買データを加工、分析。どのような商品が実際に購入されているのかを知る楽しさが原動力になりました。

来店客数と平均客単価を元に売上金額を考える

データサイエンティストの方から「前提をしっかりと説明する」とアドバイスをいただき、ブラッシュアップを重ねて発表しました。

▶ ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、社会に貢献できる人材を育成。

グローバル社会のニーズに応える サービス・イノベーションを生み出す

新サービスを創造するため、ビジネスの大きな動きを科学的に解析し、新しい知見を加味して考えるというイノベーターとして必要な能力を身に付けます。

データマイニング技術の習得をもとに イノベーターをめざす

膨大なデータ(ビッグデータ)から新サービスの創造に役立つ有益な情報(パターンやルール)を引き出す「データマイニング」の技術を習得します。

共同プロジェクトで 企業とコラボレーション

企業との共同プロジェクトに挑戦します。大手企業の社員からのフィードバックを得られることもあり、貴重な機会となっています。

DSI 紹介ムービー

2019年度文部科学大臣表彰において、科学技術賞を受賞された矢田勝俊教授が、サービス・イノベーション特別プログラム(DSI)の概要をデータマイニングが目目されている背景とともに解説。DSIを受講し、社会で活躍するOB・OGからのメッセージもあります。

45秒
ショートバージョン

6分11秒
ロングバージョン

実践プログラム⑤

FSP

実践的な学びで高度な金融知識を身に付ける
ファイナンス
特別プログラム

金融力
×
実践力

Finance Special Program

インターンシップ体験メッセージ

現場を知り、実践する機会をいただいたことで
今後の進路を考えるきっかけになりました。

2年次からインターンシップに参加でき、しかも学部が主催するプログラムで安心できそうと思いエントリーしました。事前授業を経て、9月に損害保険会社で5日間のインターンシップを体験。特に印象に残っているのは、社員の方とマンツーマンで事故発生と保険金の支払いについてロールプレイングを行ったことです。保険金はどのような場合に支払われるのか、どれくらい支払われるのか、お客様にどのようにお伝えするのかを、実践的に理解することができました。インターンシップの後半は、地震保険の加入率の低さと避難所生活の質を向上させることに着目し、課題解決に向けてグループワークを行い、プレゼンテーションを実施しました。こうして、実際の業務内容を拝見して実践し、現場の方に質問したり、自分たちのアイデアをプレゼンテーションしたりと、教室で授業を受けるだけでは得られない経験ができました。2年次生の参加者は私1人でしたが、早いタイミングで刺激を受けることができ、今後を考えるきっかけになりました。次は私が先輩たちを引っ張る存在になれたらと思います。



2年次生 / 岸 真綾
(京都/聖母学院高校出身)

FSPインターンシップに参加して得た経験

5月～7月

インターンシップ中(9月の5日間)

10月

1年次にプログラムの存在を知り、友人と参加を決めました。5月にエントリーして、2回の事前授業を受講。業務マナーなどについてレクチャーを受けた後、約10社のインターンシップ先の中から、損害保険会社への参加が決まりました。

営業部の方に同行して保険代理店を訪問。保険という目に見えない商品を扱う上で、信頼性や対応力が重要になることを実感できました。また、事故が起こった際は直後の対応だけでなく、長期間のサポートが重要であることも実感できました。

成果報告会ではさまざまな企業の方とお話できました。参加前までは、企業で働くことに対してドライなイメージがありましたが、今回の経験を通して仕事は「人」でまわっているのだと感じましたし、金融が社会に果たす役割も理解できたと思います。

商学部の学生が企画・運営を行う
関西大学ビジネスプラン・コンペティション

KUBIC

Kansai University Biz Plan Competition

2025年度は第20回本選会が10/4(土)に千里山キャンパスで開催となります。

広報活動からイベント当日の運営まで、学生が主体となってビジネスプラン・コンペティションを盛り上げます。KUBIC(キュービック)のキャッチフレーズは「学生の力」。応募はもちろんのこと企画運営についても協賛団体や大学スタッフの支援を得ながら、学生が主体となってKUBIC学生実行委員会を立ち上げ、活動を行っています。

KUBIC「学生の力」の詳細はこちら

キャリアデザイン・資格

充実したキャリアサポート

キャリアデザインとは、自分がどのように仕事(キャリア)と関わり合っていくのかを構想(デザイン)することです。商学部でビジネスを学ぶことは、社会のさまざまなフィールドで活躍するために必要な広い視野、そして実践的な知識を獲得することにつながります。

1~2年次	3年次	4年次	卒業
大学生生活を有意義に過ごし、キャリアデザインの意識を高める。	インターンシップなどを体験し、就職活動に備える。	就職支援プログラムを活用して自分に合った進路を決定する。	
キャリアデザインセミナー、キャリアプランニングセミナー キャリアデザインについて考える機会を豊富に設けています。	インターンシップ 実際に企業・団体の職場で就業体験を積むチャンスです。	就職支援プログラム ●業界研究セミナー ●企業研究セミナー ●就職活動対策講座 ●就職模擬面接 など	

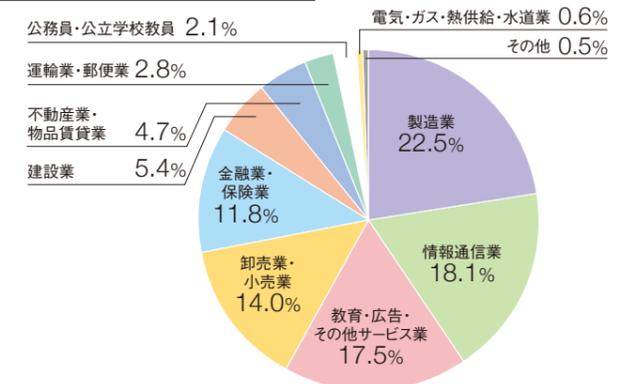
商学部でめざせる資格

公認会計士 会計の専門家であり、独立した立場において、監査業務、税務業務、コンサルティング業務などさまざまな役割を果たしています。企業の経営・財務活動を支えるニーズの高い資格です。	中小企業診断士 中小企業に対して、経営状況を診断してコンサルティングを行える国家資格です。
税理士 税金の申告をはじめ、記帳代行や決算書作成など、税務および会計全般の業務を行う唯一のプロフェッショナルです。企業のみならず個人の納税までサポートする社会貢献度の高い国家資格です。	国税専門官 国税局や税務署に勤務し、租税財源を確保するため、納税者への指導、督促などの業務を行う専門職です。
日商簿記検定 日本商工会議所等が実施する社会的評価の高い簿記の検定試験。経理・財務をはじめ経営管理に役立つ知識として、企業に最も求められる資格の1つです。商学部では就職に有利な2級以上合格を推奨しています。	不動産鑑定士 土地や建物などの不動産の評価や担保としての価値を判断するための国家資格です。
	証券アナリスト 投資についての高度な専門知識と分析能力を駆使して、投資家へのアドバイスや投資管理の情報を提供します。
	教員免許 中学校の社会科、公民科、商業科の教員をめざすことが可能です。

商学部生の就職率 (2025年4月現在実績)



業種別就職状況 (2025年4月現在実績)



卒業生の就職先の一例 (2025年4月現在実績)

製造業	アシックス/味の素/芦森工業/インダ/エア・ウォーター/SMC/NTN/荏原製作所/エフピコ/大阪シーリング印刷/オカムラ/小野測器/川崎重工業/カワサキモータース/キーエンス/京セラドキュメントソリューションズ/クボタ/栗本鐵工所/ザ・バック/サントリーホールディングス/GSユアサ/島津製作所/シャープ/住友大阪セメント/住友金属鉱山/住友電気工業/セレン/積水化学工業/タイガー魔法瓶/ダイセル/ダイハツ工業/タカラベルモント/THK/テサントジャパン/デンソー/東洋製織グループホールディングス/東洋紡/東リ/東和薬品/TOPPAN/NISSH A/ニッポン/日本精工/日本電気(NEC)/パナソニックグループ/富士フイルムビジネスイノベーション/プライムプラネットエナジー&ソリューションズ/ホンデン/マツダ/マルハニチロ/三浦工業/三菱ケミカルエンジニアリング/三菱自動車工業/三菱製紙/三菱電機/三菱電機エンジニアリング/村田製作所/山崎製パン/ヤンマーホールディングス/ユニ・チャーム/YKK AP など	金融業・保険業	池田泉州銀行/SMBC日興証券/大阪シティ信用金庫/大阪信用金庫/岡三証券/オリックス/関西みらい銀行/紀陽銀行/京都銀行/滋賀銀行/商工組合中央金庫/住友生命保険/損害保険ジャパン/太陽生命保険/大和証券/東京海上日動火災保険/南都銀行/日本生命保険/みずほ銀行/みずほ証券/三井住友海上火災保険/三井住友銀行/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/楽天証券/りそなグループ など
情報通信業	アイテック阪急阪神/伊藤忠テクノソリューションズ/インテック/SCSK/エヌ・ティ・ティ・コムウェア/NTTドコモ/大塚商会/オービック/オービックビジネスコンサルティング/オプテージ/キヤノンITソリューションズ/KDDI/コベルコシステム/Sky/スミセイ情報システム/ソフトバンク/都築電気/TIS/東京海上日動システムズ/日鉄ソリューションズ/日本電気通信システム/日本電子計算/日立システムズ/富士ソフト/富士フイルムビジネスイノベーション/マナーフォワード/三井情報/U-NEXT HOLDINGS など	建設業	大林組/きんでん/クリナップ/清水建設/住友林業/セキスイハイム近畿/積水ハウス/大成建設/大和ハウス工業/長谷工コーポレーション/LIXIL など
教育・広告・その他サービス業	有限責任あずさ監査法人/EY新日本有限責任監査法人/ADKホールディングス/ソニー・ミュージックエンタテインメント/ダスキン/有限責任監査法人トーマツ/乃村工務社/阪急交通社/PwC Japan有限責任監査法人/ペイカレント/マイナビ など	不動産業・物品賃貸業	オリックス自動車/積水ハウス不動産/三井住友トラスト不動産/三井住友ファイナンス&リース/三菱オートリース/三菱地所リアルエステートサービス など
卸売・小売業	旭食品/アズワン/因幡電機産業/岩谷産業/加藤産業/川重商事/キヤノンマーケティングジャパン/住友商事マシックス/太陽日酸ガス&ウェルディング/東テクトラスコ中山/日伝/ニトリ/パナソニックマーケティングジャパン/PALTAC/阪和興業/日立建機日本/丸文/三谷商事/三菱商事マシナリ/山星屋/ユアサ商事/良品計画/ロソン/フキタ など	運輸業・郵便業	ANAウイングス/四国旅客鉄道(JR四国)/全日本空輸(ANA)/西日本旅客鉄道(JR西日本)/ニチレイ・ロジスティクス関西/日本航空(JAL)/阪急阪神エクスプレス/三井物産グローバルロジスティクス など
		公務員・公立学校教員	国家公務員一般職/国税専門官/防衛省自衛隊 幹部候補生/京都府職員/和歌山県職員/大阪市職員/長岡京市職員/丹波篠山市職員/大阪府教員 など
		電気・ガス・熱供給・水道業	Daigasエナジー など
		その他	日本年金機構 など

※原則として業種別、50音順で記載しています。

OB・OG

卒業生からのメッセージ

ビジネスを学んだ学生は、
当然就職にも強い!
厳しい就職環境の中でも、
商学部は毎年全国平均を上回る
就職率をあげています。

流通専修

アサヒグループホールディングス株式会社
栗原 茉莉 さん
(2010年3月卒業)

組織の一体感を生み出す場を企画・運営

マーケティング業務を担当した後、現在はアサヒグループホールディングス株式会社に出向し、役員秘書を務めています。特にやりがいを感じるのは、企業トップと従業員が直接対話する場を国内外で企画・運営することです。グローバル化と多様性が進む組織の中で、役員を中心にグループ全体が一体感を持つ姿を見られることが、大きなモチベーションとなっています。在学中は、私のキャリアの原点となるマーケティングの基礎を身につけることができました。ゼミの仲間と徹底的に議論しながら、一つの商品を作り上げることを経験したからこそ、現在の私があると自信をもって言えます。

ファイナンス専修

株式会社みずほ銀行
範國 智也 さん
(2024年3月卒業)

企業の課題を解決して社会に貢献する

主に中堅・中小企業への法人営業を行っています。融資をはじめ、さまざまなソリューションの提供を通じて、企業の課題を解決していくことで社会に貢献していると感じます。銀行の内部・外部を問わず、多くの人と連携して担当企業のニーズに応えていくことがやりがいです。私は銀行で働きたいと思い、ファイナンス専修のゼミを選びました。現在、決算書を読んで事務作業から営業までを行うため、ゼミで学んだ証券市場の知識や、在学中に取得した簿記2級の知識などが幅広く業務に役立っています。今後は専門性を高め、上場企業、有名企業の担当者として活躍することが目標です。

国際ビジネス専修

東京海上日動火災保険株式会社
井上 沙季 さん
(2023年3月卒業)

お客様の声からサービスを向上

損害サービス部門の自動車事故を専門として、事故に遭われたお客様がいち早く元の生活に戻れるように、時には弁護士や調査員とも連携しながら業務を行っています。また、パートナーでもある代理店さんを訪問して関係を構築しています。お客様にとって事故は人生を大きく左右する事態にもなりかねません。この仕事は大きな責任とやりがいがあり、困っている人に寄り添い、社会の助けとなれることが最大の魅力です。在学中に身に付けた保険やビジネス英語などの知識が、ビジネスやお金について基礎から理解する土台となっています。

マネジメント専修

東急不動産株式会社
山口 貴弘 さん
(2024年3月卒業)

新しい価値観に出会える街づくりをめざす

商業施設の運営を担当し、施設にどんなお店を入れるか、どうすれば施設に人が来てくれるかを日々考え、商談や企画を行っています。ネット社会と言われる現代ですが、新しいモノやコト、価値観に触れることができるのは、施設やイベントなど、街が生み出す空間であることが多いと感じます。私は新しい価値観に触れられる場所を作りたいと思い、デベロッパーになりました。不動産業もそうですが、どんな仕事でもお金の支払いや借借、税金や会計が関わってきますので、大学生のうちから学習しておいてよかったと思っています。

会計専修

NTN株式会社
渡邊 浩一郎 さん
(2013年3月卒業)

財務面から会社のガバナンス強化を担う

会社の財務報告に関する内部統制が有効に機能しているかを評価する活動をしています。会社決算の粉飾などの不正は、会社としての信頼やブランド力を低下させるリスクとなります。そのリスクを軽減するための仕組みを推進することで会社のガバナンス強化に努めています。在学中に会計専修の講義やゼミ活動で学んだ会計に関する知識と数値から読み解く分析スキルが今の仕事に生かされています。今後は海外グループ会社の内部統制を強化することで、会社のガバナンスを一層強化するのと、今の仕事でプロフェッショナルとして活躍することが目標です。